



さちが丘小学校 学校だより

# 若竹

3月号

令和3年3月1日

横浜市立さちが丘小学校

校長 中澤 道則

TEL:361-0777 FAX:361-0787

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 梅、一輪…

学校長 中澤 道則

“梅一輪 一輪ほどの あたたかさ”

芭蕉の弟子、服部嵐雪の有名な一句です。校庭の梅も一輪、一輪と花開き、「一輪ほどの」あたたかさを運んできてくれています。

毎年、「若竹 3月号」には「梅」の話題を書いています。「梅」には春を待ちわびる日本人の心情が映し出されているからです。菅原道真も「東風吹かば 匂いおこせよ 梅の花 主なしとて 春を忘るな（春な忘れそ）」という短歌を詠んでいます。思い起こせば全国で一斉に休校措置がとられたのは去年の今頃でした。そこからの1年は、まさに「異例づくめ」の1年間でした。分散登校から午前授業、様々な制約の中での学習。そんな中でも1年間、教育活動を進めることができたのも、子ども達の頑張り、保護者・地域の皆様のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。



さて、過日実施した「学校評価アンケート」の結果がまとまりました。12項目の質問の中では、「④ 教職員による個に応じた指導・支援」の評価が昨年度と比べると9ポイント、「⑦ 児童の安全・管理」の評価が8ポイント上がっていました。「⑧ 健康安全」に関する評価も4ポイント上がっており、コロナ禍の中での学校の取り組みをご理解いただけましたものと嬉しく思います。反面、「⑫ 食育」の評価が5ポイント、「⑨ 情報の積極的な発信」の評価が3ポイント、下がっていました。これらの項目の評価が下がったのは、コロナ禍での「前向き、黙食」や「授業参観、懇談会の機会が少なかったこと」の影響であると考えます。「情報発信」については記述欄でも多くのご意見をいただいております。来年度以降、動画配信等、ICTを活用するなどしてより一層、情報発信を充実させていきたいと考えています。記述欄では他にも登下校の安全管理、特に下校時の歩行に課題を感じるというご意見も数多くいただきました。学校での安全指導を更に充実させていきたいと思っております。詳細につきましては後日、学校評価アンケート全体を総括し、プリントにてお知らせいたします。皆様、ご協力、ありがとうございました。

さて、冒頭の句には2つの解釈があると言われています。「梅が一輪咲くごとにだんだんと暖かくなっていく」という解釈と、「梅が一輪咲くと、その一輪分ほどのかすかな暖かさを感じる」というものです。コロナ禍にあっても季節は移ろい、春は巡ってきます。この句のようにたとえわずかであっても一步一步、「日常」が戻ってきて欲しいと願うばかりの毎日です。保護者、地域の皆様にはこの1年間、本校教育活動に対するご理解、ご支援を賜り、本当にありがとうございました。教職員一同、深く感謝申し上げます。来年度も変わらぬご支援のほど、よろしくお願い致します。